

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立 黒川小学校
1 前年度 評価結果の概要	○「目次ノート」の活用方法を工夫した家庭学習の充実を図る。○地域の人材や1人1台タブレットを効果的に活用した学習活動の充実を図る(学力向上) ○事前の連絡や掲示の工夫による業務改善を図る。【業務改善・教職員の働き方改革の推進】 ○保護者の立場に立った早めの情報発信を行う。【開かれた学校づくり】 ○就学指導や校内研修を計画的に実施する。【特別支援教育の充実】 ○土砂災害等に備えた避難訓練と防災教育の充実を図る。○【危機管理】
2 学校教育目標	黒川大好き、なかよく頑張る ～ 郷土を愛し、周りの人を大切にする心豊かな子供の育成をめざして ～
3 本年度の重点目標	(1) 個に応じた指導の充実とGIGAスクールへの着手 (2) 家庭学習の充実とキャリア教育の推進 (3) 健康管理や危機回避能力の育成

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上を目指す。	●学力向上対策評価シートを使った校内研修を行う。 ●GIGAスクール(1人1台タブレットの活用等)に着手する。						
	○家庭学習の充実	○「家庭学習ができています」と答える保護者が80%以上を目指す。 ○「自学ノートの取組ができた」と答える児童が上学年で80%以上を目指す。	●「家庭学習の手引き」を活用し、保護者の学習への関心を高める。 ●4年生以上では「自学ノート」に取り組み、学期や学年間で取組の交流を行い、意欲を高める。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「地域であいさつをしている」と答える児童が90%以上を目指す。 ○「心の教育3点セットを活用した」と答える職員が80%以上を目指す。	●来校者や地域の方にあいさつするよう働きかける。 ●全校道徳(心の広場)を年間5回行い、児童の人格意識を全職員で高める。 ●心の教育3点セットの活用を推進する。 ●道徳年間計画及び関連表(別様)を活用し、道徳の授業を活性化させる。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校が楽しい」と感じる児童が90%以上を目指す。 ○「早期発見・早期対応ができています」と答える職員90%以上を目指す。	●報告・連絡・相談の徹底と組織的な対応を行うよう共通理解を図る。 ●学校生活アンケートを年6回実施する。 ●教育相談週間を1学期に実施する。 ●「教育相談連絡会」や「職員連絡会」で配慮を要する児童についての手立て等を共通理解する。 ●SC及びSSWとの連携を図り、情報交換を行う。						
	◎自分のよさや友達によさに気づき、認め合い進んで活動する児童の育成	○「自分には良いところがある」と答える児童が80%以上を目指す。 ○「友達のよいところを知っている」と答える児童が95%以上を目指す。	●特別活動(学級会)を校内研究で取り組み、話し合い、実践、振り返りの一連の活動を通して児童の自己肯定感を高める。 ●キャリアパスポートを活用し、自己のめあてを持って生活し、振り返ることのできる児童を育てる。						
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○朝食を摂る児童95%以上を目指す。 ○昼休みに外遊びをしている児童85%を目指す。 ○体力向上のために計画的な場作りや多様な遊びの紹介を行い、進んで運動に親しむ児童の育成を図る。	●栄養士や学校医と連携し、発達段階に応じた食育指導を実施する。 ●外遊びの良さを伝え、声かけをする。 ●県のスポーツチャレンジを各学級に紹介し取組を奨励する。						
	○感染症拡大予防の推進	○「感染対策を意識した手洗いをしている」と答える児童が90%以上を目指す。 ○学校行事・授業参観時に来校者の検温と手指消毒を必ず行う。	●「手洗いの6つのタイミング」を周知徹底する。 ●名簿を作成し、行事参加の保護者を把握するとともに、検温と手指消毒を必ず行う。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	●業務記録の正確な記録を毎月職員に依頼する。 ●定時退勤日、退勤目標時刻を設定し、行事黒板に提示する。 ●職員会議において、校務分掌の計画と役割分担を明確化し、確認する。						
	○カリキュラムの見直し及び行事の精選	○年に2回カリキュラムの見直し、行事の検討を行う。	●教科の横断、地域人材活用、職員の負担軽減について検討する職員研修を行う。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○開かれた学校づくり	○学校情報の公開 ○学校行事・授業参観の充実 ○コミュニティスクールの体制づくり	○翌月の月行事を月の中旬までに保護者に知らせる。 ○授業参観、学校行事への参加率90%以上(独自アンケート)を目指す。 ○小・小連携で児童同士が交流する機会を年に1回設定する。	●教務主任に依頼して、保護者向け月行事をプリントで毎月配布する。 ●月行事をHP上に掲示する。 ●学校安心メールで必要な情報を配信する。 ●中学校入学後、スムーズに人間関係を形成できるように、6年生同士の交流を行う。						
○特別支援教育の充実	○個に応じた指導の充実 ○就学指導及び校内研修の計画的な実施	○「個別の支援計画」の有効活用を進める。 ○講師を招聘した校内研修を行う	●教育相談連絡会、校内研修での共通理解を図る。 ●夏季休業中に講師を招聘した研修会を行う。						
○安全指導及び防災教育の充実	○保護者引き渡し訓練及び各種避難訓練の実施 ○「安全に関する資質・危機回避能力の育成」	○年1回保護者引き渡し訓練を実施する。 ○年4回の避難訓練での防災教育を行う。 ○児童の交通事故を0にする。 ○10件以上の「子ども110番の家」を確保する。	●保護者引き渡し訓練を通して、地域・家庭での防災意識を高める。 ●地区児童会での登下校班指導を行い、交通安全教室を実施することで、交通ルールを守る意識を徹底させる。 ●青少年会と協力して、「子ども110番の家」を確保することで、地域の防犯意識向上へとつなげる。						

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
----------------	------------------------